

■インド：全国電力委員会を設立、送電網の地域間調整

インドで2013年3月25日、全国電力委員会（NPC：National Power Committee）が設立された。委員会は、北部、西部、南部、東部、北東部の5地域にある地域電力委員会の委員長ほか18名で構成され、インド電力庁（CEA）長官が委員長を務める。NPCは、送電網の信頼性を高めるため、地域系統間で起こる問題を解決する役割を担う。NPCの決定事項については、各地域電力委員会が遂行する。インドでは、独立運用されている5地域系統が段階的に連系されており、2009年以降、南部を除く4地域系統（中央系統）が常時連系されている。そして、中央系統と南部系統を連系する計画が進められる中、2012年7月には中央系統で約6億人に影響する大規模停電が発生した。事故調査委員会の検証により、北部の一部の州で割り当て以上の電力が使用されたことが停電の引き金となったことが明らかとなり、全国電力委員会の設立が求められていた。